

各教科の評価計画の例（地理歴史科・公民科）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価資料 1	ワークシート等の 記述	ワークシート等の 記述	行動観察
評価資料 2	情報収集・資料の 読み取り等の観察	学習課題やレポート 等の記述	学習に関わろうとする 態度や学習内容を生 かそうとする姿勢
評価資料 3	単元テスト 確認テスト	生徒の発表・対話	授業振り返りシート等 の記述
評価資料 4	定期考査	定期考査	* 「知識・技能」や「思考・判 断・表現」などと一体的に評 価する

地理歴史科・公民科の評価の実際の例

「主体的に学習に取り組む態度」

◎内容のまとめり 地理総合「C(1) 自然環境と防災」

◎「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の例

私たちのまちの防災対策について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

◎単元のまとめにおけるワークシートを用いた学習評価の例

ワークシート2

学習を振り返って

下の図は、X地区のハザードマップを大まかに示したものである。



★での堤防決壊による洪水の浸水想定範囲(浸水深0.5m～3m)

最大遡上高12mの津波による浸水想定範囲(浸水深2m～5m)

【読み取り】 X地区で予想される自然災害について、図から読み取れることを挙げてみよう。

ハザードマップから必要な情報を的確に読み取る「技能」を見取る。

【考察】 X地区では自然災害に対してどのような備えが必要だろうか。

【まとめ】 私たちの住む地域では、自然災害に対してどのような備えが必要か、X地区と比べながら挙げてみよう。

地域性を踏まえた備えの重要性についての理解を見取る。

【課題】 私たちの住む地域について防災上の課題だと思ったことは何だろうか。

「主体的に学習に取り組む態度」を見取る。

◎「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価の例

ワークシートの【課題】の欄への記述を基に、これまでの学習を踏まえ、生活圏の防災対策についての関心を高め、学んだことを実生活に適応しようとしたり、これからの学習に意欲的に取り組もうとしたりしているかを見取り、評価することが考えられる。また、学習内容を踏まえた疑問(問い)の内容などから、学習後も関心をもって自ら追究し続けたい、解決・改善を図っていききたいといった意欲や、自分の住む地域の防災に主体的に関わろうとする意欲が示されているかを見取ることが考えられる。

○「おおむね満足できる」状況(B)と考えられる生徒ア、生徒イの記述例

【課題】 私たちの住む地域について、防災上の課題だと思ことは何だろうか。

生徒ア X地区と同様に、私たちの住む地域でも、同じ標高で予想浸水深が違うのはなぜかと疑問に思った。地図だけでは分からない部分もありそうなので、ぜひ現地調査をしてみたい。

生徒アの記述は、X地区についてのハザードマップの読み取りにおいて、標高と予想浸水深との関わりに疑問をもち、地図以外の資料も収集することの必要性を認識するとともに、現地調査の実施を考えるなど、生活圏の防災についての関心の高まりや今後もさらに追究しようとする意欲を確認することができる。

生徒イ 高齢化の進む私の町で、自分は避難できても、自力で避難できない人の安全をどう確保したらよいか、地域の一員としてこれから考えていきたい

生徒イの記述は、高齢化の進展という生活圏の地域性を踏まえ、避難時に必要な対策について考えるとともに、今後も意欲的に取り組もうとする態度が確認できる。

○「努力を要する」状況(C)と考えられる生徒ウの記述例

生徒ウ 洪水やガケ崩れが起こりそうなところには、はじめから近寄らない。

生徒ウの記述は、災害に対する備えが現実的ではなく、地域の防災に主体的に関わろうとする意欲が十分に示されていないと考えられ、学習の成果を踏まえた記述となっていない。「努力を要する」状況(C)と判断される場合には、補助発問を加えるなどして、学習のねらいに迫る考察の過程にいくつかの段階を設けて支援することなどが考えられる。

地理歴史科・公民科の評価の実際の例 「主体的に学習に取り組む態度」

- ◎内容のまとめり 歴史総合「近代化と私たち」
- ◎「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の例

よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて「近代化と私たち」の学習を振り返るとともに次の学習へのつながりを見出だそうとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」を評価する場面で、評価の場面となる〔3〕〔4〕の学習活動を導くために、〔1〕〔2〕のような振り返りの段階を踏まえている。これらの振り返りの項目は、「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための活動〔3〕〔4〕をよりよく行うためのものであり、生徒の学習の実態に応じて設定することができる。

「主体的に学習に取り組む態度」の『評定に用いる評価』に活用する場面として、

〔3〕は単元「近代化と私たち」の学習内容を振り返り、近代化の歴史について、現代の自分自身との関わりから捉えているかを評価する。この生徒の記述は、単元の学習を通じて、自身の近代化についての認識と変容を自覚しており、近代化がもたらした工業化を、現代の課題でもある貧困（経済格差）と結び付けようとしていると評価できる。

〔4〕は学習の振り返りを通して、次の学習に生かそうとしているかを評価する。この生徒の記述は、振り返りを踏まえ新たな学習の目標を立て、学び方の工夫をしようとしていると評価できる。

- ◎「おおむね満足できる」状況（B）と考えられる生徒のワークシートの記述例

〔1〕近代化の歴史に関する自身の学びを振り返り、できた部分とできなかった部分を確認しよう。

<input type="checkbox"/> できた部分 近代化の歴史を学ぶ中で、現代と結び付けて考えることができ、どのように現代に生かすのか理解が深まった。	<input type="checkbox"/> できなかった部分 歴史を学ぶ中で、登場した人々の行動、たこの意図も考えることや、それに対して疑問を持つことができなかった。
--	---

〔2〕近代化の歴史に関して、学ぶ前にもっていた問いと、学んだことにより新たに生み出された問いや予想（仮説）を書いてみよう。

<input type="checkbox"/> 学ぶ前に持った問い ・歴史上の人物がどのように現代を創り上げたのか ・近代化による工業の発展は良いことだけだったのか？	<input type="checkbox"/> 学んだことにより新たに生み出された問い 工業化や資本主義と社会主義を生み出した冷戦については、たとえ戦争を生む原因には、たのではないか？
--	--

〔3〕〔1〕や〔2〕を踏まえて、近代化の歴史に関する自分の関心や理解がどのように変わったのか書いてみよう。

近代化とは、工業の発展により、現代まで続く資本主義の確立や、労働者に関する法の制定など良い面ばかりだと思っていたが、それを別の視点から学んだことで、ヨーロッパの工業化による資本主義の強まりがアジアやアフリカなどのモロカドや経済化や工業の遅れに影響を与えていたという負の側面にも関心を持つようになった。また、工業化により社会主義思想が生まれ戦争につながったのでほほいかということも考えるようになり、こうした課題が貧困問題として現代まで続いていることを理解した。

〔4〕よりよく歴史を学習するために、次にしていきたいことは何か。

歴史上の各国のつながりや、人々の行動、たこのことについて、自分の意見や疑問を持ち、歴史から学び、それをどのように現代へ役立たせるかについて考えていくこと。

地理歴史科・公民科の評価の実際の例 「主体的に学習に取り組む態度」

◎内容のまとめり 公共

「B 自立した主体としてより良い社会の形成に参画する
私たち」

◎「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の例

現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価規準作成のポイント
国家の及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている状況を評価する。

ポイント1

解決しようとしている状況の評価すること。

→知識及び技能の獲得や、思考力・判断力・表現力等の習得のため、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかという意志的な側面を評価する。

ポイント2

解決しようとしているものは現代の諸課題であること。

→課題とは様々な社会的事象等から成る現代の諸課題であることに留意する。

「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価

単元の終末で、単元の始めに立てた見通しを踏まえて学習への自身の関わりを振り返り、自分にとっての学習の意義として見いだした内容を評価することから、単元の終末の振り返りを想定し、1枚のワークシートなどに単元の学習内容をまとめ、蓄積しておくことができるような工夫が必要である。

<単元の導入>

【単元を貫く問い】に対する解決の見通しや予想を立てる。

<単元の授業>

授業において「おおむね満足できる状況」に達していない生徒に対する手立てを講じる「学習改善につなげる評価」を行った上で、単元の終末に「評価に用いる評価」を行うことが重要である。

<単元のまとめ>

下のようなワークシートに記述させ、その記述内容によって「評価に用いる評価」を行う。また、「おおむね満足できる状況」に達していない生徒に対する手立てを講じる必要がある。

資料 「主体的に学習に取り組む態度」に係るワークシート（一部）

《単元のまとめ》

○単元の始めに立てた【単元を貫く問い】に対する解決の見通しを踏まえて、これまでの学習を振り返り、自分自身の考えを広げたり、深めたり、まとめたりする際に有効と考える学習活動はどのようなものでしたか。また、なぜ、そのような学習活動が有効だと考えますか。

○単元の学習を振り返り、これからも考え続けたい現代の諸課題は何ですか。また、自分や社会との関わりも踏まえて、考え続けたい理由を説明してみよう。